

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		公民館事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73123
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条			
	小項目	1	生涯学習の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		市民を対象として、市内12公民館において、市民が求める生涯学習の場を提供することで、気軽に継続する学習活動に取り組めるよう図る。・パソコン教室、料理教室、そば打ち教室、バスハイキング、歴史探訪、陶芸教室等							
目的 ※何のために		市民の生涯学習の場を提供するため							
対象 ※誰・何を対象に		市民							
手段 ※どのように		市内12公民館において学級講座を開催する。							
成果 ※何を求めるか		市民が気軽に学習活動及び文化活動に取り組めるよう図る。							
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・学級講座の開催					・		
		・家庭教育講座の開催					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費(投入コスト) 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		学級講座の開催 家庭教育講座の開催	学級講座の開催 家庭教育講座の開催	学級講座の開催 家庭教育講座の開催	学級講座の開催 家庭教育講座の開催		
事業費	予算(現額)	3,930,000	4,618,000	5,032,000	0	0	
	決算額	1,786,123	2,325,173	2,574,469	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	1,786,123	2,325,173	2,574,469	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.12	0.13	
	人件費相当試算※	393,478	400,509	411,113	1,017,252	1,145,104	
総事業費試算		2,179,601	2,725,682	2,985,582	1,017,252	1,145,104	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	学級講座開催延べ回数	目標値	回	300.00	300.00	300.00	300.00		
		実績値		303.00	396.00	395.00	378.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績をもとに、現状維持を目標とする。 / 事務事業執行状況表						
	実績値の算出式								
成果指標 1	学級講座参加者数	目標値	人	14,400.00	14,400.00	14,400.00	14,400.00		
		実績値		9,565.00	35,718.00	40,856.00	50,750.00		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各公民館平均年間1,200人とし、14,400人を目標値として設定する。 / 事務事業執行状況表						
	実績値の算出式								
成果指標 2	公民館利用者数	目標値	千人	600.00	600.00	600.00	600.00		
		実績値		493.94	571.20	635.43	734.07		
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	学級講座開催延べ回数(378回)は目標値(300回)を大きく上回り、達成した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	学級講座参加者数(50,750人)は目標値(14,400人)を大きく上回り、公民館利用者数(734.07千人)についても目標値(600千人)を大きく上回り、達成することができた。
			評価者 生涯学習係長 玉井 一平

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	学級講座の参加者の多くは高齢者であるため、講座申込の際の電子申請の活用は困難と考えるが、今後の高齢者の情報リテラシーの向上を見据え、試行的に電子申請を取入れていく必要がある。
			評価者 生涯学習係長 玉井 一平